

アキレスは亀に、永遠に、追いつかない??
数学は現実の生活と世界を基礎としなくてもよいのでしょうか?
現実の生活と世界から逃げてよいのでしょうか?

より普遍的な〈現実論の世界学〉から
数学にまつわる諸矛盾を痛快に解決していく
もうひとつの 意外な 数学基礎論。
日本語にて書きます。

数学にまつわる諸矛盾は、架空と現実、かずと量と図形、対象と認識と表現、
認識と予想と実践、連続と不連続、実用と執着、健康平和と病的戦争、つるか
め算と方程式、場と相互作用、言語学と数学、現場と集合論。
ゼノン→デカルト→ガウス→ヒルベルト、諸権威にも時代の限界。
数学は特殊な世界学です。

さて、現実論としての数学を拡張していくことは、日本の山田俊郎^{としお} (1926
～1996) が開拓した次世代生命技術（「TQ技術」）を理学的に解明していくた
めにも、必須の準備です。健康・住居・食物流通・農業・環境のため、われわ
れは数学や物理学にまつわる架空論ないし仮定論からの干渉をなめらかに回避
する必要があるのです。★